



～つながり ささえあい かわぐち をめざして～

重層的支援体制整備事業が始まり、どのように取り組んでよいか悩まれている事業所の方も多くいるかと思います。

市では、「高齢者」「障害者」「子ども」分野において地域づくり関係に取り組んでいる関係機関が、56機関あります。自分たちの地域の他分野の関係機関を把握していただいたり、交流してみませんか？

介護分野

地域包括支援センター

中央・横曽根・西・青木・上青木
前川・芝・芝西・芝伊刈・南平
南平みなみ・神根・神根東・新郷
新郷東・安行・戸塚・戸塚西
・鳩ヶ谷東部・鳩ヶ谷西部

障害分野

地域活動支援センター

ほっと・わかゆり学園
めだかSUN・キューポラの家
まつぼっくりの家・さくらハウスの
びのび・ヒマワリング・希望
かわぐち手歩の会・ユニゾン

子ども分野

地域子育て支援拠点事業

つどいの広場:子育てサポートプラザ・子育てひろばポッポ・南鳩ヶ谷地域子育て支援センター・おやこの遊び広場

児童センター:南平・芝・戸塚 **こども館:**鳩ヶ谷こども館

地域子育て支援センター:南青木地域子育てセンター・戸塚西地域子育てセンター・里地域子育てセンター・アスク東川口保育園子育て支援センター・川口駅前保育園子育て支援センター・子育て支援センターフォーマザー・子育て支援センターぱけっと・子育て支援センター風の子広場・子育て支援センターわらべ・あいう園川口子育て支援センター・クマさん子育て支援センター・子育て支援センターベテル・子育て支援センターはなにこ・子育て支援センターなぎさ・川口子ども園子育て支援センターのびのび・子育て支援センターぱれっと



皆様の活動を教えていただきたく、お邪魔させていただくこともございます。

その時は、よろしくお願いします。



発行元

福祉総務課 福祉相談支援担当

電話: 048(259)7947

令和6年 第1号
発行日 7月1日

～つながり ささえあい かわぐち～ 地域づくり通信



令和6年度より、重層的支援体制整備事業が本格実施となりました。今までは、自分たちが管轄する世代向けの取り組みのみとなっていました。が、これからは、世代・属性を問わない地域づくりをすることが可能となりました。

世代・問わない居場所づくり、地域づくりにしてみませんか？福祉総務課より地域づくり関係機関での取り組みをご紹介します。

子ども



高齢者

児童向け高齢者についての授業

～老人クラブボランティアがスタッフとして参加～

新郷東地域包括支援センターが、新郷東小学校の6年生の児童を対象に、「高齢者の接し方、高齢者疑似体験」の出前講座を行いました。

この取り組みは、3年前より漆山地区社協会長から、小学校の校長先生へお声掛けいただき、児童へ向けての高齢者についての授業が始まりました。いままで、地域包括支援センターのスタッフのみでの授業でしたが、今年度は、新たに、新郷町会の老人クラブ「新松会」の皆様にも、スタッフに入ってください、講座を行いました。

新松会は、71名。シニアボランティアとして、100歳体操や町会の出前講座にご協力いただいています。新松会と地域包括支援センターとの交流も多く、ボランティア活動だけではなく、出前講座や、認知症サポーター養成講座のステップアップ講座の受講もされているとのこと。8名のボランティアさんに参加していただき、各グループに分かれた児童に対し、高齢者疑似体験キットをつけてあげ、かがむ、実際に苦手となる、カードを拾う、ボタンをはめるなどの行動を指導されていました。実際に体験された児童も、難しい対応に苦慮しながらも、ボランティアの方と談笑しながら、体験されていました。質問コーナーでは、「歳を取ってよかったこと」に対し、「色々な学びを得られたこと」とお話しされました。参加されたボランティアの方々は、「元気をもらいました。」と笑顔があふれていました。



ボタンのめ方を熱心にアドバイス



新郷町会老人クラブ新松会のシニアボランティアと漆山会長と生活支援コーディネーター奥村氏





つながり ささえあい かわぐち

高齢者



誰でも

交流サークル「チームひまつぶし」の活動

芝園団地内で活動している『チームひまつぶし』

メンバーは、介護支援ボランティアでもある民生委員の4名。月に1回第2火曜日に、チームひまつぶしは、高齢者を対象としたサロン「芝園ひまつぶし」を開催しています。開催していく中で、顔が見える関係づくりが必要と、令和6年1月より第4月曜日は、だれでも参加可能な「ひまつぶ荘」が始まりました。「ひまつぶ荘」のスタッフメンバーは、チームひまつぶしのほかに、芝園かけはしプロジェクト、URコミュニティのスタッフ。芝園団地内の集会室を使用し、月に2度居場所づくりの活動を実施しています。



6月24日には、雨も上がり外は暑く、11名の住民が参加。飲み物とお菓子を堪能しながら、ゆったりできる会場となっていました。飲み物は、お茶やコーヒーが選べることが可能。コーヒーは、URコミュニティのかたが、ドリップしたもの。コーヒーの淹れ方も教わり、部屋にはコーヒーの匂いが香っていました。参加者は、将棋・オセロ・トランプ・百人一首から選んでゲームを実施。それぞれのゲームを通して、観戦している側も交えて、飲み物お菓子を食べながら、会話が弾んでいました。スタッフのメンバーは、次回の行う夏祭りの準備についてや今後取り組みたい企画などを話し合いしながら、参加者のご様子に気を配っていました。

この日は、学校がお休みだったこともあり、小学生がやってきました。はじめは、緊張した参加した児童も、しばらくすると、場にも慣れていました。小学生は、汗をかいていたこともあり、お茶を飲み、涼みながら百人一首の坊主めくりを楽しんでいました。初めての子どもたちの参加。部屋には、高齢者や子ども、スタッフの声が響きわたり、にぎやかな場所となりました。



子どもたちもやってきました。



熱心にお話されている「チームひまつぶしスタッフ」

地域づくり通信

令和6年 第1号

住民座談会からの出た取り組み

地域を巡る～散歩の会～

中央地域包括支援センターの取り組みを紹介します。昨年度の住民座談会の中で、今後やってみたい活動に「地域を巡る散歩の集まり」が出ており、実際に企画し6月18日に「散歩の会」を実施しました。

当日は、雨の中、認知症のかたや認知症のかたの社会参加を支援する介護支援ボランティアを含む9名の参加者、地域密着型デイサービスまあむ2名、地域包括スタッフ2名計13で、シティデュオタワーから、地域にある、『錫杖寺』へ向かいました。地域の小路を散策しながら、雨に濡れる紫陽花を鑑賞したり、路地にある喫茶店を観たりなどして、錫杖寺に到着しました。

錫杖寺は、御成道沿いにあり、歴代の徳川将軍が昼食をとることが習わしとなっていたお寺。また、幕末の大奥御年寄滝山の墓があることでも有名であり、雨宿りしつつ、体力があるかたは、階段を上り参拝。また、御年寄滝山の墓を見学したり、地域の歴史に触れていました。

階段など上るのに不安の方は、門で雨宿りしながら、錫杖寺の前にある「本町2丁目會館」が昭和15年築であることなど、地元住民ならではのお話に盛り上がっていました。

帰り道は、錫杖寺の裏手にある、地域密着型デイサービスまあむまで歩き、到着後お茶やお菓子を食べて休憩しました。最後に締めめのあいさつを参加者がされ、解散となりました。

中央地区には、まだまだ多くの歴史的な場所があるとの事。この散歩を実施するにあたっては、包括、介護支援ボランティアが実際に歩き、下見をして当日を迎えています。下見を入念に行っているからこそ、認知症の方でも、会話しながら楽しく散歩することができていました。



みんながあつまり、出発！



錫杖寺の前で記念撮影。



まあむにて、水分補給されながら、談笑される。